

又市会の即時解散
 5. ガス水道電燈費半減の半減
 6. 小学校授業料の撤廃
 7. 市従業員の解散 貸銀値下絶対反対
 8. 労働者無産市民負担の諸税廃止
 9. 資本金地主負担の新税即時実施
 10. 中央政府の市政干渉絶対反対

官製青年団青年訓練所庶務会
 その他反動的動員計画打破事件 へ江東支部長

主文
 帝國主義戦争の危機の切迫と階級戦争の激化は資本主義の存続を危しきにして無産階級の聲を討つと反動思想の注入を益々速く進めようとする。行せしめておまむ。曰く軍事の大演習は文化總動員時高敷完結するの旗本、小生、世間、大の旗本、在郷軍人会、青年訓練所、青年団の軍事訓練団体、度々会に對する反動的指導、軍事的青年団の組織等、資本主義地主政府は無産階級のあらゆる運動に對しては強硬の強圧を下すと共に、一切の反動団体を支持し、破産して労働者農民の平等を妨害し破壊を企てつゝある。

全日本青年労働連盟の如く、戦時体制の一切の反動計画の打破を期せしむるべきなり。

実行方法
 1. 戦争は漸進的存続機会を捕へて之等の反動計画反対のためのカハハニアカシキキ、北ねばならぬ。日常不断に反動計画反対のための宣傳活動が、宣傳活動、茶話会、研究会、集会、その他あらゆる機会に於ける場合に強力に執行せしむるべし。

2. 反動計画反対のための従業員大会、工場代表者会、無産階級団体会議、ストライキ、示威運動が行はれなければならぬ。かゝる斗争を更に強力に展開せんがために先づ充分に工場職場にそのための宣傳活動が持ちこたれなければならぬ。
 3. あらゆる軍事的組織に對する斗争——在郷軍人会、官製青年團、青年訓練所、学生、軍事教練等々に對しその成立を阻止し、組織を破壊し、半ばねばならぬ。即ち此らの組織の外部から此らの組織が如何に無産階級の利益の擁護を目標としてあるものであつかを暴露し、又優秀なる分子を組織内に送り込んで内外相呼応して目的を達成し、勢力を伸ばすべし。

4. 戦争新法による十九日評会に對する斗争は、於て政府の増大する反動計画を徹底的に暴露し、之を撤回を迫つて前記の諸手